

## アスベストの混入部位を詳細に検査できます！！

平成 29 年 3 月に改定された「石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル 2.10 版」において、新たに建築用仕上塗材の内容が追加されました。この改訂に伴い解体もしくは改修時において、アスベストが主材等の上塗材、下地調整塗材のどちらかに混入しているのか否か、を確認する必要があります。一方、施工時の工法（吹付け or ローラー・こて塗り）によっては、解体・改修工事において適切な対応（届出及び飛散防止）を講じる必要があります。

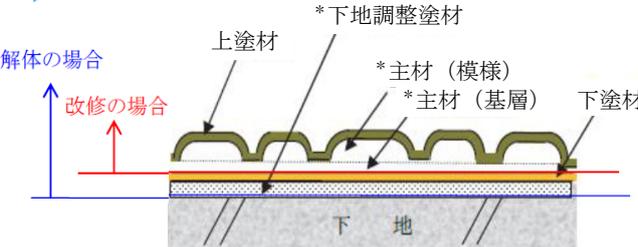
吹付け？  
ローラー・こて塗り？

重要！





石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル  
2.10 版（平成 29 年 3 月 厚生労働省）

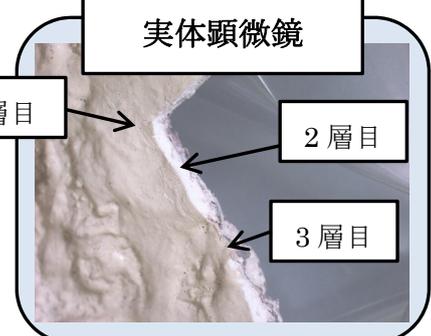


複層仕上塗材：凸部処理模様の例  
\*：アスベスト含有部位

また、沖縄県では独自で告知・啓発として床材の接着剤を「廃石綿等」として取り扱う等、どの部位にアスベストが含有しているか、を調べる要望が高まりつつあります。

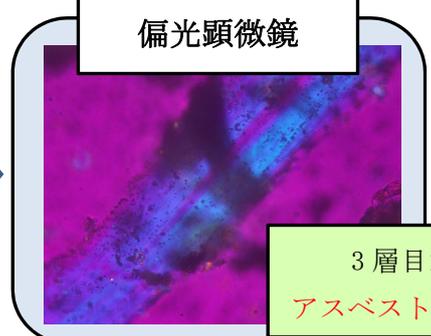
## JIS A 1481-1 では層ごとに分析を行います！！

実体顕微鏡



➔

偏光顕微鏡



3層目から  
アスベスト検出！！

当社では、（公社）日本作業環境測定協会「石綿分析技術の評価事業」における A ランク取得技術者、（一社）日本環境測定分析協会における「建材中のアスベスト分析技能試験」における合格者が在籍し、高精度・高品質の分析サービスを提供しております。

詳しくは当社、研究開発部 守屋・鈴木（敏）（フリーダイヤル：0120-01-2590 内線：378、401）まで、お気軽にお問い合わせ下さい。

